

総務市民委員会 会議録

=====
日 時 平成30年4月24日（火曜日）
午前10時開会、午前11時5分閉会
場 所 第3委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議事項
(1) 会派の政務活動費収支報告書の審査について
 - 4 その他
 - 5 閉 会
-

出席委員（9名）

| | | |
|------|-----|----|
| 委員長 | 平石 | 勝司 |
| 副委員長 | 島岡 | 宏明 |
| 委 員 | 沼田 | 義雄 |
| 委 員 | 久松 | 猛 |
| 委 員 | 矢口 | 迪夫 |
| 委 員 | 吉田 | 博史 |
| 委 員 | 海老原 | 一郎 |
| 委 員 | 篠塚 | 昌毅 |
| 委 員 | 今野 | 貴子 |

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

| | | |
|------------|----|----|
| 議会事務局次長 | 川上 | 勇二 |
| 議会事務局総務係主任 | 浅岡 | 久美 |

傍聴者（なし）

○平石委員長 おはようございます。只今から総務市民委員会を開催いたします。それでは、協議事項の各会派の政務活動費収支報告書の審査を致します。まず新風会について事務局より説明願います。

○川上議会事務局次長 本日、審査をお願いしますのは、平成29年度に政務活動費の交付を受けた6会派についてでございます。

かつて、事務局職員のチェックだけでは不正を見抜くことができず、社会問題となったことがございましたので、最終的なチェックを総務市民委員会にお願いをしているものでございます。

皆様の質問に、わかる範囲につきましては、事務局でお答えをさせていただきますが、幸い、総務市民委員会には、創政会・明政会・公明党・共産党の4会派の方々がおられますので、事務局でわからない部分については、会派の方々にご協力をいただきながら進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、お手元の資料をごらんいただきたいと存じます。

まず資料の1枚目、会派の一覧表でございますが、この順番、新風会が1番というように、会派ごとに説明をさせていただきます。

その次のページが、収支の会派ごとの一覧表でございます。

その次のページからが会派ごとにまとめたものでございます。具体的には、ラベルがあるページが「政務活動費収支報告書」、その裏側が「会計帳簿」、そのあとに、領収書、支払い証明書、広報紙など成果品が添付してございます。

今回、会派ごとの一覧最後のページに「平成29年度会派視察報告書提出状況」をつけさせていただきました。

この表について、説明をさせていただきますので、資料の一番後ろのページ、創政会のものをごらんいただきたいと思っております。

上の方の破線で囲まれた部分でございますが、これは、3月の全協でご協議いただきました「政務活動費の手引き」からの抜粋で、「収支報告書には、視察目的・視察内容・質疑応答並びに参加者全員の感想等を記載した視察報告書を添付すること。」と決められておりますので、その記載がされているかどうか、表形式にして見やすくしたものでございます。

この部分は、従前から、このような申し合わせがされていたんですが、視察の目的等、記載がない報告書も見られましたので、会派の責任者又は経理責任者の方々に、この提出状況の表を見ていただきまして、申し合わせに沿った報告書となるようお願いしてきたものでございます。

その結果、本日までに訂正や追加提出をしていただいた結果を、一覧表にしたもので

ございます。

平成30年度分からは、インターネットによる報告書や領収書などの公開が決まっておりますので、次年度以降につきましても「政務活動費の手引き」に沿った形での報告書の提出をお願いしてまいりたいと思っております。

視察報告書自体につきましては、例年、回覧とさせていただいておりますので、回覧をさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

では、詳細について、会派ごとに説明してまいります。

まず2枚目の表をご覧ください。平成29年度政務活動費収支一覧表をご覧ください。

議会全体で、6会派分、一番右側の欄、27と書かれている下の数字、810万円が交付額でございます。

その下、621万1,850円が、支出額の合計になります。

それから、下から2行目の188万8,150円、これが残金でございます。この残金は、市に返還をしていただく金額でございます。

それでは、まず資料No.1、新風会でございます。

ラベル1のページが新風会の「政務活動費収支報告書」になります。

収入は会派所属議員2名分の政務活動費60万円、支出は、調査研究費の6万1,700円は、7月に明政会と合同で実施した北海道内3市への視察旅費等で、参加をされた鈴木議員、おひとり分の経費でございます。

新風会の最後のページ、ラベル2の1枚前のページをお願いいたします。新風会の視察報告書の詳細を申し上げます。

先ほど、簡単に説明させていただきましたが、申し合わせの中で、記載すべき内容ということで、「視察目的」や「視察内容」、「質疑応答」などの項目を、矢印で示してございます。

他の会派についても、同じように一覧にしてございますので、順次説明をしてまいります。

新風会の北海道内3市（小樽市・室蘭市・苫小牧市）の報告書につきましては、視察目的・視察内容・議員個人の感想の記載されておりますが、3市とも、質疑応答の記載がございませんでした。

ラベル1の裏のページに戻っていただきまして、こちらが会計帳簿になります。

収入、支出、そして残高とも、もれなく記載され、収支報告書と、別添の領収書の金額も符合しており、いずれも使途基準に沿って適正に支出され、かつ関係書類も不備なく揃っていることを確認いたしました。

支出が6万1,700円でございますので、残金53万8,300円が、市への返還分となります。

新風会については以上でございます。

○平石委員長 ただ今の件に関しまして委員の方から何かございますか。

(なし)

○平石委員長 次に、明政会について事務局より説明願います。

○川上議会事務局次長 次に資料No.2 明政会でございます。

ラベル2のページ「政務活動費の収支報告書」をお願いいたします。

収入は、会派所属議員5名分の政務活動費150万円、支出につきましては、4科目でございます。まず1つ目の調査研究費の92万6,500円は、7月に新風会と合同で行った北海道内の3市の視察、11月に実施したの愛媛県・広島県・岡山県の3市への視察、さらに本年2月に実施した沖縄県内の3市への、合計3回分の視察旅費等の経費でございます。

明政会の最後のページ、ラベル3の前のページをお願いいたします。明政会の視察報告書の詳細を申し上げます。7月の北海道視察についてでございますが、新風会のような「視察目的」として項目立てがなかったことと、質疑応答の記載がございませんでした。そのほかは、全て記載されております。

ラベル2のページに戻っていただきまして、2科目目、研修費の3万2,288円は、10月に東京で開催された「地方議員研究会」主催の「質問方法スキルアップ研修」に参加された際の参加費など、1名分の経費でございます。

3科目目、資料購入費の25万8,848円は、行政関係情報誌の年間購読、そして所属議員の自宅・事務所で定期購読した新聞購読料でございます。

4科目目、事務所費の4万1,652円は、会派控室にあるテレビのNHK受信料、デジタルカメラ用のメモリーカードや、自宅で使用するプリンターインクの購入代金の7割の額の支出でございます。

なお、先ほどの視察報告提出状況のページの1枚前、請求金額と領収額に61円の差あること、その請求書が商談メモになっている理由を、その前のページでございますが、会派の代表者に、「支払い証明書」という形で記載をしていただいております。

会計帳簿のページに戻っていただきまして、収入、支出、そして残高とも、もれなく記載され、さきほど申し上げました商談メモの部分を除きましては、収支報告書と、別

添の領収書の金額も符合しており、いずれも使途基準に沿って適正に支出され、かつ関係書類も不備なく揃っていることを確認いたしました。

支出の4科目の合計が125万9,288円でございますので、残金24万712円が、市への返還分となります。

明政会については以上でございます。

○平石委員長 ただ今の件に関しまして委員の方から何かございますか。

○久松委員 商談メモというのがよくわからないが、明細書を紛失したために、商談メモを添付。領収書はないの。

○川上事務局次長 領収書は上にあるのですが。普通カードで買うと、この上に明細が付いてくるのですが、そこを切り取ってしまって。何かに使った。

○浅岡事務局主任 はっきりとはわからないのですが、カードで購入したために、カードの支払いの方で使うと聞いたような気がします。

○川上事務局次長 それに代わるものだというので商談メモをつけています。

○沼田委員 カメラのハードケースというのはどういうことなの。

○浅岡事務局主任 カメラを収めるためのケースだと思われま。

○沼田委員 61円安くしてもらったんだ。

○平石委員長 次に、市政を考える会について事務局より説明願います。

○川上議会事務局次長 次に、資料No.3 市政を考える会でございます。

ラベル3のページ「政務活動費の収支報告書」をお願いいたします。

収入は、所属議員1名分の政務活動費30万円、支出は、3科目でございます。まず1つ目、調査研究費の5万6,360円は、4月に実施した滋賀県・京都府内の3市への視察旅費等の経費でございます。

市政を考える会の最後のページ、ラベル4の前のページをお願いいたします。市政を考える会の視察報告書の詳細を申し上げます。こちらも「視察目的」の項目立てがされておられません。質疑応答の記載もございませんでした。

ラベル3のページに戻っていただきまして、2科目目、広報費の13万円は、会派で発行した広報紙に要した経費でございます。

3科目目、資料購入費の2,570円は、書籍1冊の購入費でございます。

次のページが会計帳簿でございますが、収入、支出、そして残高とも、もれなく記載され、収支報告書と、別添の領収書の金額も符合しており、いずれも使途基準に沿って適正に支出され、かつ関係書類も不備なく揃っていることを確認いたしました。

支出の3科目の合計が18万8,930円でございますので、残金11万1,070円が、市への返還分となります。

市政を考える会については以上でございます。

○平石委員長 ただ今の件に関しまして委員の方から何かございますか。

○篠塚委員 広報紙の件ですけれども、会派名を入れるという基準をという話があったと思うのですが、一人会派なので、問題はないと思うのですが、竹内ひろし様という名前だけなので、会派はどこに書いてあるのかな。その辺はどうするかという・・・小さく書いてある。大きさをどうするのかという。前回の時に話がでたと思うのですが。議員名が・・・会派の名前が出ていればいいのか。一応統一したお話をしていただければ、ここで決めていただければいいのかなと思ひまして。

○平石委員長 タイトルが会派名のチラシでない、ということなのですか。

○篠塚委員 この前の説明会の中では、会派の広報紙であれば認めますと、言うことで議員個人ではダメですよ。で、会派の名前を大きくして。そこまでは言わなかったんですが、ただ大きさを言うとどうなのかな。その辺の基準を会派としての広報紙であれば決めておいた方がいいのかなと思ひまして相談させていただいた。これでよければ、各個人でも個人の名前を出して、小さく会派名を出せばOKということも起こりうるのではないかな。その辺どうなのかなということですよ。

○吉田委員 会派名を大きく出したからいいとか、ちいさいからダメとかという風には行かないと思う。

○篠塚委員 もう1点よろしいですか。あと内容に関してなんですけど、一人会派ですから、ひとりの報告だけでいいのですが、会派の会報誌というのは、名前の大きさもありますが、会派全員の報告が無ければ認めるのか、認めないのか、その辺もあると思うので、その辺の基準も決めていただければ。例えば一番最後のところに会派の名前全部書いていけばOKなのか、その辺の基準をですね、報告は少し入れておいた方がいいとか、ある程度明確にさせていただくとよいと思ひます。

○久松委員 趣旨から逸脱していなければ、なるべく自由にした方がいいのではないかな。字が大きいとか小さいとかではなくて。必要な事項が記載されていけばそれでいいのではないかなと思ひます。あとはレイアウトとかデザインの問題だから、そこまで基準を決め付ける必要はないのではないかな。というのが私の意見です。

○吉田委員 会派名と会派のメンバーの名前を必ず記すること、とすればいいのではないかな。内容については。

○久松委員 内容というよりも字の大きさとか。基準とか。そこまで必要なのかということなんです。

○吉田委員 篠塚委員が言いたいのは、ある程度縛りをつけないと、会派で出しているも、個人の広報紙じゃないかと思われることになってはいけないということなんだと思うんだよ。確かにそうなんだよな。

○篠塚委員 広報紙を政務活動費で使えないのかという。その使える、使えないの基準を明確にしておいた方がいいのかなと思ひまして。今言われたように会派名が入っていて、会派のメンバーが入っていて、であれば政務活動費を使ってもいいよということ

にさせていただければそれでいいのですが。

○久松委員 例えば創政会みたいにメンバーが多いところについて言えば、創政会の広報紙を出そうということになって、すべてのメンバーが載っていないければ認められないとなると、これは難しくなってしまうと思うんだよ。だから創政会の広報紙だよということがはっきりしていれば、全員の名前が記載されていなくてもいいのではないかと。

○海老原委員 名前だけは記載した方がいいのではないかと。

○久松委員 記事はなくても名前だけはね。

○吉田委員 会派名と名前を載せるということでもいいのではないかと。

○平石委員長 意見がまとまりましたので、そのようにいたします。

次に、公明党土浦市議団について事務局より説明願います。

○川上議会事務局次長 次に資料No.4 公明党土浦市議団でございます。

ラベル4のページ「政務活動費の収支報告書」をお願いいたします。

収入は、会派の所属議員4名分の政務活動費120万円、支出は、3科目でございます。まず1つ目、調査研究費の63万6,840円は、7月に実施した北海道内の4市への視察と、11月に実施した秋田県内の2市への2回分の視察旅費等の経費でございます。

公明党土浦市議団の最後のページ、ラベル5の前のページをお願いいたします。公明党土浦市議団の視察報告書の詳細を申し上げます。

こちらの表のとおり、視察目的・視察内容・質疑応答・各議員の感想、全て記載されておりました。

ラベル4のページに戻っていただきまして、2科目目、資料購入費 23万7,622円は、所属議員が各々自宅で定期購読された新聞購読料と、行政関係情報誌の年間購読、及び、購入された書籍5冊の図書代でございます。

3科目目、事務所費 10万139円は、ICレコーダー、コピー用紙、プリンターインクなどのパソコン関係消耗品に係る経費でございまして、消耗品につきましては、申し合わせ事項、「自宅において使用する事務用消耗品等及び事務機器のリース代については、経費の7割を支給する。」という申し合わせ事項に従った7割の支出となっております。

なお、公明党の資料の中で、付箋がはってあるページがあると思うんです、そのページをお開き願います。「支払証明書」というページでございます。

秋田県内の2市への視察研修に関しての領収書でございますが、平石議員さんが経理責任者で、事務局に原本を提出していただいているということなんです、事務局内をくまなく捜しましたが、その書類が見つかりません。そのため会派の代表者に「支払証明書」ということで、提出をお願いしたものでございます。

政務活動費の交付条例第7条の1項には、会計帳簿及び領収書の写しを議長に提出すると決められておりますが、その原本自体を預かっていたという、取り決めと異なった処理をしていた結果が招いたことでございます。

今後、条例に基づいた処理を徹底してまいりますので、よろしくお願いいたします。

書類の紛失につきましては、大変、申し訳ありませんでした。

会計帳簿のページに戻っていただきまして、収入、支出、そして残高とも、もれなく記載され、さきほど申し上げました領収書の紛失部分を除きましては、収支報告書と、別添の領収書の金額も符合しており、いずれも使途基準に沿って適正に支出され、かつ成果品などの関係書類も不備なく揃っていることを確認いたしました。

支出の3科目の合計が97万4,601円でございますので、残金22万5,399円が、市への返還分となります。

公明党土浦市議団については以上でございます。

○平石委員長 ただ今の件に関しまして委員の方から何かございますか。

○篠塚委員 先ほど、事務局に提出をして紛失をしてしまったということで支出証明書を出していただいたのですが、近畿日本ツーリスト166,000円。金額が大きいので、前にも明細が載っていますが、領収書の再発行なり、受取書のサインとか、いただけないのでしょうか。先ほど明政会さんの方で細かい明細がでていたじゃないですか。あのような細かい明細がでているので、166,000円で金額が大きいので、明細みたいなものも頂いて。

○川上事務局次長 明細は後ろにあるのですが。

○篠塚委員 これはツーリストさんから頂いたものですか。

○浅岡事務局主任 はい。

○篠塚委員 ツーリストさんからはんこを頂いたものが。旅行会社のはんこがあって、これをだれが発行したかわからないので、一応つけておいた方がよいのではないか。

○平石委員長 お願いできますかね。

○浅岡事務局主任 お願いはしてみます。

○平石委員長 次に、日本共産党土浦市議団について事務局より説明願います。

○川上議会事務局次長 次に資料No.5 日本共産党土浦市議団でございます。

ラベル5のページ「政務活動費の収支報告書」をお願いいたします。

収入は、所属議員2名分の政務活動費 60万円、支出は、4科目でございます。まず1つ目、研修費の3万7,350円は、7月に千葉市で開催された「自治体学校」に参加された際の参加費、旅費等、1名分、二泊三日分の経費でございます。

2科目目、広報費の23万6,266円は、会派で行っている議会報告会に係る案内チラシ

シの作成・折込み、会場使用料、それと広報紙の発行に要した経費でございます。

3科目目、資料購入費の12万6,608円は、所属議員が各々自宅で定期購読された新聞購読料と、購入された書籍7冊の図書代でございます。

4科目目、事務所費の1万8,827円は、コピー機のリース代、プリンターインクなどの消耗品代で、申し合わせ事項どおり、経費の7割の支出となっております。

次のページが会計帳簿でございます。収入、支出、そして残高とも、もれなく記載され、収支報告書と、別添の領収書の金額も符合しており、いずれも使途基準に沿って適正に支出され、かつ成果品などの関係書類も不備なく揃っていることを確認いたしました。

支出の4科目の合計が41万9,051円でございますので、残金18万949円が、市への返還分となります。

日本共産党土浦市議団については以上でございます。

○平石委員長 ただ今の件に関しまして委員の方から何かございますか。

(なし)

○平石委員長 次に、創政会について事務局より説明願います。

○川上議会事務局次長 最後に資料No.6 創政会でございます。

ラベル6のページ「政務活動費の収支報告書」をお願いいたします。

収入は、会派の所属議員13名の政務活動費 390万円です。支出は、4科目ございます。まず1つ目、調査研究費の236万1,916円は、4月に会員7名で実施した沖縄県内の2市への視察と、5月に会員5名で実施した京都府・奈良県・和歌山県の3市への視察、それから7月に11名で実施した北海道内の3市への視察、さらに本年1月に実施した会員10名による鹿児島県内の3市への、合計4回の視察旅費等の経費でございます。

創政会の最後のページをお願いいたします。創政会の視察報告書の詳細を申し上げます。視察目的につきましては、4回とも、全て記載がございました。次の項目の視察内容の記載はありますが、質疑応答の項目で、4月の沖縄県の方、5月の京都市の方、鹿児島県奄美市における視察時の質疑応答の記載がございません。

さらに、参加者の感想のところ、黒い三角形のマークがあると思いますが、川原場副議長・矢口清議員は、報告書の提出があるんですが、那覇市の対馬記念館についての感想が書かれておりません。

なお、1月の沖縄への視察で、矢口清議員が体調不良により、急遽、キャンセルとなりましたが、そのキャンセル料につきましては、全額、個人負担をされております。

ラベル6のページに戻っていただきまして、2科目目、資料作成費の1,820円は、会派で使用した資料のカラーコピー代、及び郵送代でございます。

3科目目、資料購入費の90万5,928円は、自治体議員活動総覧・議員ナビプラスという行政関係情報の購読料と、所属議員が自宅で定期購読した新聞購読料でございます。

4科目目、事務所費の3万8,616円は、会派控室にあるテレビのNHK受信料、及びプリンターの購入に係る諸経費の支出でございます。

次のページが会計帳簿でございますが、収入、支出、そして残高とも、もれなく記載され、収支報告書と、別添の領収書の金額も符合しており、いずれも使途基準に沿って適正に支出されております。

支出の4費目の合計が330万8,280円でございますので、残金59万1,720円が、市への返還分となります。

創政会については以上でございます。

○**平石委員長** ただ今の件に関しまして委員の方から何かございますか。

○**久松委員** 視察報告書の中で、視察目的とか視察内容とか質疑応答とあるが、どこに記載されているのか。書類とかあるの。

○**浅岡事務局主任** 項目立てをして書いていただいております。特別この様式でということでは決めてないようなので、自分で作成する報告書の中に記載してもらうことになっております。

○**篠塚委員** 今言われた報告書の提出状況なんですけど、これから情報公開もあることで、すし、罰点がないように会派の皆さんに話していただいて、報告書はこの項目立てで書いてくださいというのを確認しながら……。

○**海老原委員** 視察に行った人と行かなかった人がわからないので、提出する時には参加者名簿を報告書の前に各会派でつけるようにしてはどうか。

○**平石委員長** それも統一ということをお願いします。

その他、何もなければ事務局の皆さんは退席されて結構です。

(議会事務局退席)

○**平石委員長** それでは、その他について協議させていただきます。議会報告会がありますので、総務市民委員会の報告を報告者島岡副委員長にお願いしまして、作成しました。今日皆さんにご覧になっていただいて、訂正箇所があれば訂正をさせていただきたいと思っております。報告時間は15分となっております。

(島岡副委員長 別添資料に基づいて説明)

○平石委員長 何かご意見がありましたらお願いします。

○吉田委員 語尾がはっきりしていてよいが、聞いている方からは話しが入ってこない。話し方に強弱をつけた方がよい。もう少し端折っていいからゆっくりした口調で話しかけるような話し方をした方が耳に入ってくる。

○島岡副委員長 実はやる前に20分くらいかかってしまうのではないかと考えていました。

○吉田委員 予算というのは難しいんだよな。専門用語がでるから聞いている方もわからない。多くを話さないで。

○久松委員 結構早口だったからな。

○矢口委員 確かに、あまり長いと聞いている方も段々わからなくなってくる。ポイントでやっていった方がいいと思う、もう少しゆっくりで。

○平石委員長 6月定例会の事前委員会の日程ですが、5月28日(月)午前10時から。初めての委員会ですので新しい課長さんもいらっしゃいますので全員出席していただいて、その後報告する部署だけということにしますのでよろしく願いいたします。

次に行政視察の件でございますが、10月9日から11日と決めさせていただいたのですが、本年度視察を1回にするのか、年初めに行くのかを決めていただければ。

○委員 1回でいいんじゃないか。

○平石委員長 じゃあ1回ということで、視察の場所ですが、九州方面を予定しておりますので、熊本県あたりを考えております。

その他なにかございますか。なければ総務市民委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。